

(別添 1)

【山形県鮭川村】

端末整備・更新計画

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度
① 児童生徒数	251	238	230	220	211
② 予備機を含む 整備上限台数		274			
③ 整備台数 (予備機除く)		238			
④ ③のうち 基金事業によるもの		238			
⑤ 累積更新率		100%	103%	108%	113%
⑥ 予備機整備台数		27			
⑦ ⑥のうち 基金事業によるもの		27			
⑧ 予備機整備率		11%			

(端末の整備・更新計画の考え方)

GIGA スクール構想第 1 期で令和 2 年度に整備した端末 (239 台) について、令和 7 年度に予備機も含めた端末の更新を行い、令和 7 年度末～令和 8 年度にかけて運用を開始する。

(更新対象端末のリユース、リサイクル、処分について)

○対象台数：239 台

○処分方法

・使用済端末を小中学校や公共施設などで再利用

鮭川小学校：50 台 (1 クラス分 40 台＋教職員用 10 台)

鮭川中学校：50 台 (1 クラス分 40 台＋教職員用 10 台)

鮭川村中央公民館：20 台

・小型家電リサイクル法の認定事業者へ再使用・再資源化を委託 : 119 台

○端末のデータの消去方法 処分事業者へ委託

○スケジュール (予定)

令和 8 年 4 月 処分事業者 選定

令和 8 年 8 月 新規購入端末の使用開始

令和 8 年 10 月 使用済端末の事業者への引き渡し

○その他特記事項

端末のバッテリーの耐用年数を最大 5 年と想定し、全台数のバッテリーの交換又は新規購入費用を、大規模事業として計上する。

教育内容の高度化に伴う高性能のタブレットの必要性や、財政負担の平準化も鑑み、令和 10 年度前後からの対応を、今後検討していく。

端末更新の前に、Google workspace education の運用を開始する。その際は、先生・児童生徒が、OS 環境変更によるストレスを感じない様に円滑な移行を図る。